

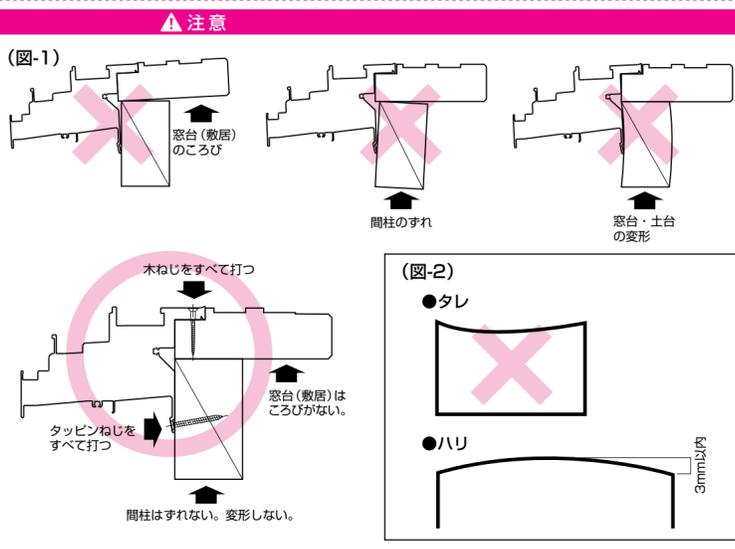
高断熱アルミサッシサーマルII 引違い窓 外付型 取付け説明書

■施工される方へのお願い

- この説明書は必ず施工される方にお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

- 本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で約80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。
- 本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがあります。
- 上枠のハリは3mm以内に抑え、タレはないようにしてください。障子落下・開閉障害の原因になります。(図-2)
- 取付けねじは確実に締め付けてください。下枠が外側にくるび、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。(図-1)
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。障子落下のおそれがあります。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。(本文中の図参照)



■施工上のお願い

- 必ず指定の木ねじで枠を躯体に固定した後、障子を建て込んでください。
- 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないように注意してください。

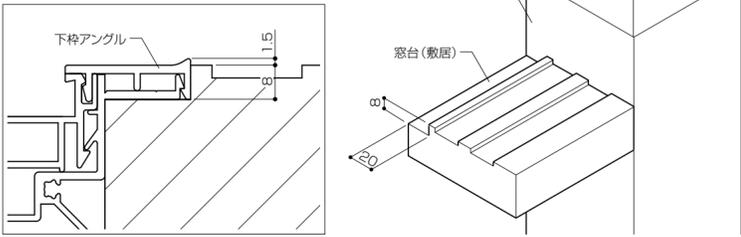
■取付けねじ一覧表

①	②
φ4×35皿タッピンねじ	φ3.8×20丸木ねじ
③	
φ3.8×32 下枠アングル固定段付き皿木ねじ	

■取付け順序

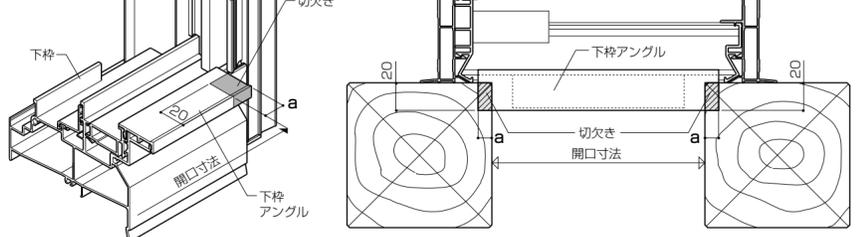
1 躯体の加工

- 窓台(敷居)に下枠アングルの取付け溝を掘り込みます。



2 下枠アングルの切断

- 開口部に合わせて下枠アングルの切り欠きを切ります。

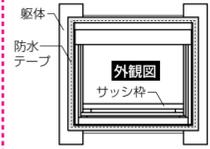


3 枠の固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

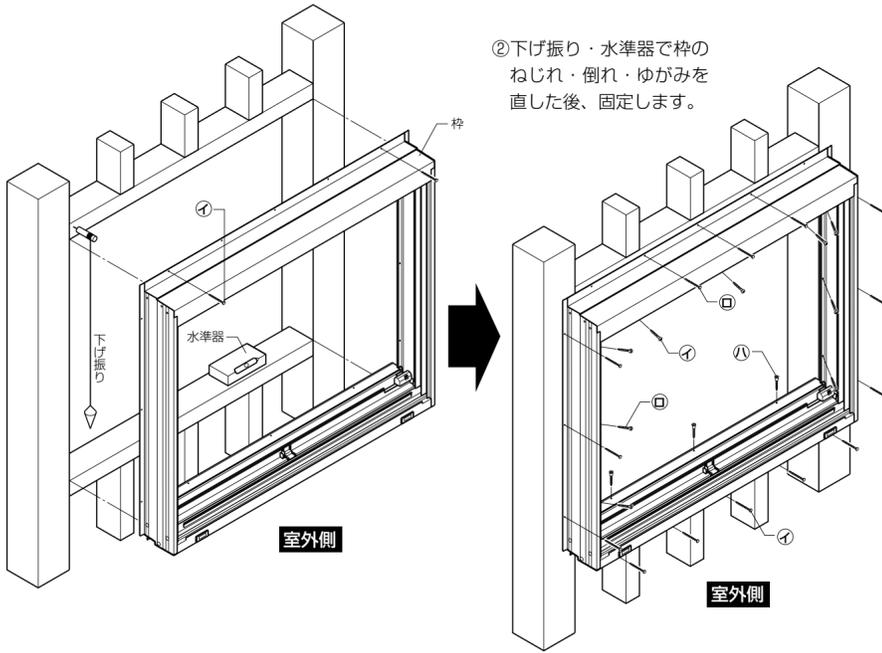
▲注意

- 本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

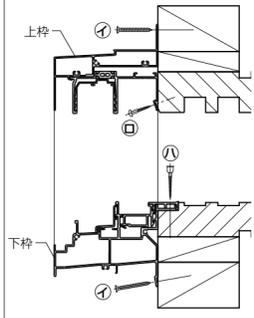


▲注意

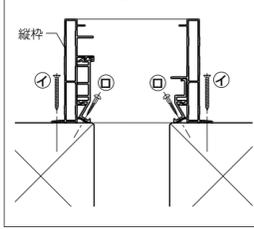
- 取付けねじは確実に締め付けてください。下枠が外側にくるび、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。



■上下枠の固定



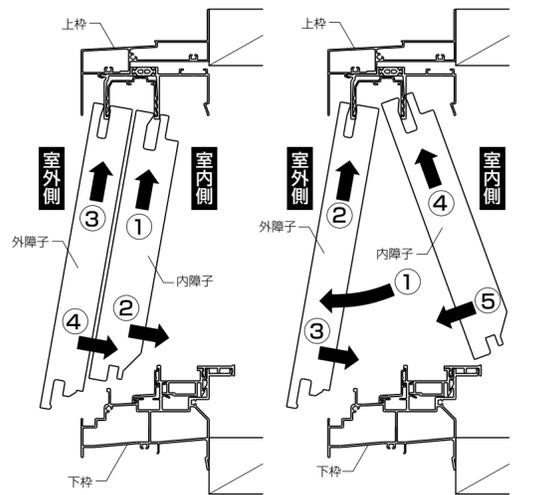
■縦枠の固定



4 障子の建込み

- 下図の手順で障子を入れます。 ※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】 【室内側からの建込み】



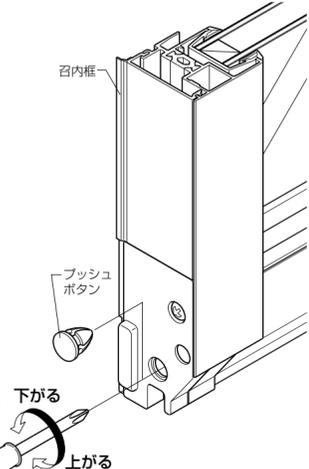
■建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がらぬので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

■お願い

- ※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ビースも調整してください。(部品を下げて透き間をなくします。)



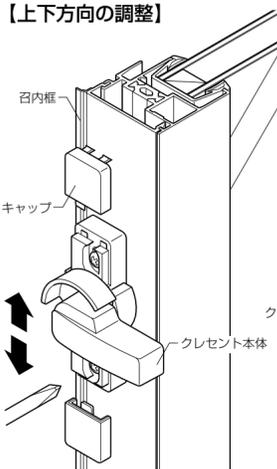
■クレセント調整

【上下方向の調整】 (クレセント本体)

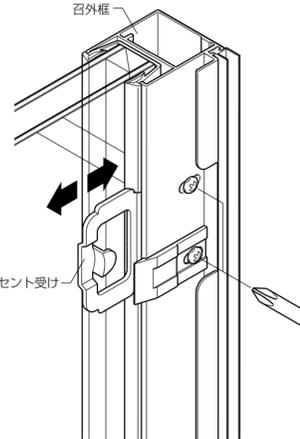
- ①マイナスドライバーでキャップを外します。
- ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。 ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

【左右方向の調整】 (クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。 ※調整後はしっかりねじを締めてください。



【左右方向の調整】

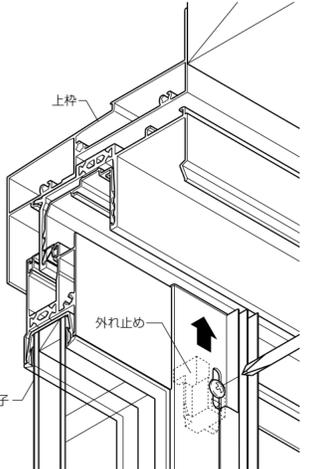


■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。 ※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

- 必ず外れ止め調整ねじを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



■参考納まり図

